

燃える闘魂

平成 29 年 4 月 14 日の 1 年生体育科集会で、山形県教育庁スポーツ保健課課長の佐藤裕恒先生（当時本校教頭）から激励を頂いたことがあります。スポーツ山形の魂を支えてこられた先生のお話は、私たち指導者の心にも深く染みわたりました。先生のお話は「胸を張って大きな声で目標が言えるか」「何のために山形中央高校体育科を選んだのか」「ぶれない信念が勝利を掴む」「夢を求める覚悟と勇気」「夢は力なり 練習は不可能を可能にする」という数々の熱いメッセージで体育科生の魂を揺さぶりました。そこで手を挙げ、発言した生徒がいます。「私は競技人口拡大の為に、誰よりも強くなりたいので山形中央高校に来ました。山形の方々に恩返しして卒業したい」入学したばかりの高校生の言葉に圧倒されました。この生徒の燃える闘魂は日本一、世界でも大活躍するエネルギーになりました。教え子みな吾が師なり。教え子たちの燃える闘魂は今も母校で燃えています🔥

本校スキー部を全国区にし、オリンピック選手、数々の素晴らしい指導者を育てられた菊地勉先生（前体育部長）の 2019 年 No.33 翔友から抜粋した言葉を紹介いたします。『**山形中央高校を離れても山形中央高校のファンとして、活躍を応援していきます。頑張れ中央校生、体育科生。そこで、体育科生の皆さん、山形中央高校体育科に入学した時の“思い”を振り返ってみてください。進路達成に向けて、部活動への取り組み、その時の“思い”を大事にして 1 日 1 日を過ごしてください。毎日の生活をなんとなく過ごしていませんか。もう一度、自分自身の“思い”を振り返ってみてください。「初心忘れるべからず」です。さあ、高校生活は一度だけです。悔いのないように生活し、自分自身の“思い”を大事にして、夢の実現に向け、進んでください。**』（設楽先生なら出来る！3 人目の本校スキー部オリンピック育成楽しみにしています！！）これまでの栄光の足跡は、先人の方々が必死になって積み上げてこられた 1 日 1 秒があつてこそだということを忘れてはいけません。

自分を育てる者は自分である。自分と応援して下さる方々の思いを大切に。

